

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市道0115号線道路改良事業						予算事業名		市道0115号線道路改良事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法、道路構造令、結城市道の構造の技術的基準等を定める条例				
			08	02	03	2203	経常経費						
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分	主要事業					
	快適で住みやすいまちづくり												
	道路ネットワークの形成						担当課係等	土木課 管理係・改良係					
事業期間		継続 (令和 2年度～令和 7年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
通過車両、通学児童の安全確保が見込まれる。 また、本市の南北を結び主要地方道を補完する幹線道路の一部であり、工業団地から古河市へのアクセス向上を目指す。							本路線は、江川北小学校及び結城南中学校の通学路であるが、大型車両の通行が多く通学児童が通行する際に危険な状況で、地元から強く拡幅要望があったため。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
市道0115号線の約950m区間を幅員8mに拡幅し、整備する。							沿線住民と道路利用者						
令和5年度 用地買収、物件移転補償 流末排水詳細設計、流末排水工事													
令和6年度 物件移転補償 道路改良工事、流末排水工事							【事業をとりまく環境の変化】						
令和7年度 道路改良工事							全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いでおり、必要な対策について関係機関で改善を行うようになってきている。 国も通学路の安全確保に向けた取り組みを重要事業として位置付け、推進している。						
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】					
用地買収 1式 物件移転補償 1式 流末排水詳細設計 1式 流末排水工事 1式				物件移転補償 1式 道路改良工事 1式 流末排水工事 1式				道路改良工事 1式					

		R03年度	R04年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	9,075	23,100			
	県支出金	0	0			
	地方債	6,600	17,000			
	その他の	0	0			
	一般財源	715	8,900			
歳入計（千円）		16,390	49,000			
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	12 委託料	16,390	12,142			
	16 公有財産購入費	0	9,500			
	21 補償補填及び賠償金	0	27,358			
歳出計（千円）（A）		16,390	49,000			
伸び率（％）			198.96			
備考						

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率	%	目標	6.11	17.53	65.69
	事業費ベース		実績	5.79	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	利用者の安全を考慮すると、必要性・緊急性ともに高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に則り、設計・施工するため妥当である。人員に関しても最小限の人数で行っており、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	委託業務の途中であり、目に見える成果についてはどちらとも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	道路詳細設計が完了したが、進捗についてはどちらとも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
全体の事業計画について地元にて了承を得ているが、個別の補償等についてはまだ折衝していないため早めの対応をしていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
国庫補助金が要望どおり交付されるよう県等関係機関に要望していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 延長約950m・幅員8mの道路改良事業であるが、補助事業での早期完了を目指す。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	